

2. 指標設定

成果指標	指標名	受け入れ体制の充実	目標年度	H26	指標の設定理由				
	数値	5ヶ所			豊後大野市キラキラこどもプランの数値目標として設定しているため				
活動指標	指標	a	情報の発信・周知	b	職員研修の推進	c	相談業務の充実	d	ネットワーク化の推進
	数値	目標	年24回	目標	年2回	目標	随時	目標	年2回

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
受け入れ体制の充実	ヶ所	5ヶ所	5ヶ所	5ヶ所
		100.0%	100.0%	100.0%

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 情報の発信・周知	回	24回 100.0%	24回 100.0%	48回 100.0%
b 職員研修の推進	回	2回 100.0%	6回 300.0%	4回 200.0%
c 相談業務の充実	人	349人 -	286人 -	284人 -
d ネットワーク化の推進	回	2回 100.0%	2回 100.0%	2回 100.0%

4. 課題と対応

課題
支援センターのネットワーク化の推進。
対応（改善点等）
情報を共有するため、定期的に連絡会を開催している。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

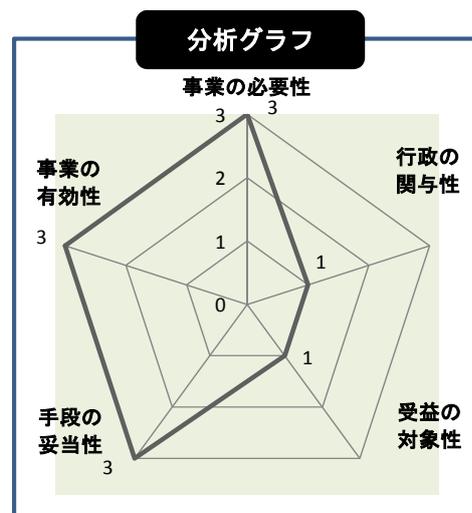
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		11,300	20,160	20,310	21,540
うち経常経費		8,710	20,010		
財源内訳	国費	4,691	10,005		
	県費	2,590	75	10,155	10,770
	市債				
	その他				
	一般財源	4,019	10,080	10,155	10,770
うち経常		4,019	10,005		
事業費に係る人件費		1,075	1,073	1,090	665
事業費に係る人役		0.25	0.25	0.25	0.15

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
核家族化の現在における母子と子育て支援のために必要な委託に要する予算であり前年度並みは必要。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 保育に欠けない児童の福祉の向上が求められている。
② 行政の関与性	責任領域の精査	1 民間でも取組が可能である。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 保育に欠けない児童とその母親が対象となっているため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 ニーズに対応するための職員研修・相談業務及びネットワーク化は適切な手段であると判断できるため。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 計画どおり5ヶ所設置しており利用者のニーズを満たしている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	常に情報の共有を行うとともに、活動成果を検証し、事業の有効性を図ること。